



# となりの子育て



何故結婚しないのかと聞くと、どうやら長男の家を継ぐ問題や子どもを産む産まないという問題が煩わしいと思っているようです。

30代・女性・Dさん  
家を継ぐというのは何を継ぐんですか。

阿部さん  
家と土地を維持したり墓守ですね。

30代・女性・Eさん  
うちは毎年おぼんにお墓の前で写真を撮っています。もともとばらばらにあったお墓を一箇所に移動して、おじいさんの妹の誰れさんやどこそこの誰れさんも一緒にいるよと教えられ

ました。小さい骨もあったからヤクルトを持っていっているとも言っていました。私は5人兄弟で長女で女、女、女、末っ子が長男です。男の子がほしかったのかどうかわかりませんが、お墓の話になると私と長男にいろいろ教えてくれます。

阿部さん  
水戸では家を継ぐ問題で、いろいろ夢があるのに両親の面倒をみることや家に入らなければいけないのかと、私たちだけ我慢して他の兄弟は何もしないでするいと悩んでいる人がいました。

30代・女性・Dさん  
私の兄弟はみんな東京にいて、誰も帰らない予定の家になっている。今、両親は老老介護になっていて4人で住んでいる。私は帰れないし弟は美容師で東京に自分の店を持つとされている。誰かが倒れることになったら現実的に誰かは行くと思うのですが、私たち3人も免許を持っていません。お墓は山の奥の標識のないところにあり、父の運転じゃないと行けない。誰も覚えていなくて、これはやばいよという話はしている。家の登記のことも誰もわかっていなくて、今のうちに何とかしなくてはと思っています。

阿部さん  
多分これは日本中である話なんじゃないかなあと思いますね。

**ワークショップ参加者募集中!**

9/27(土) 10/10(金) 10/18(土)  
太白区中央市民センター 和室 (9/27のみ音楽室)  
各回 10:00~13:00  
ワークショップ 10:00~12:00  
ランチタイム 12:00~13:00

①参加希望日、②氏名(ふりがな)、③住所、④電話番号、⑤年齢、⑥お子様の名前・年齢(お子様が同伴の場合のみ)、⑦参加動機、結婚、産み、育てについて考えていることなどを書いて下記までお申し込みください。  
【締切:各回1週間前まで】

## となりの子育てたてよこナナメ

10月25日(土) 13:00~ 26日(日) 10:00~

せんだいメディアテーク 1F オープンスクエア 入場無料

これまで約10ヶ月に渡り、仙台市内で行ってきた「結婚・産み・育て」を巡るワークショップの成果発表です。「結婚、産み、育て」について、「演劇」の手法を使い、いろんな形の作品を製作。子どもも大人も参加できるイベントです。

ダンス

コント

ワークショップ

トーク

ライブ

展示

キッズスペース

4都市連携プロジェクトとは  
この事業は、北九州芸術劇場(福岡県北九州市)、世田谷パブリックシアター(東京都世田谷区)、水戸芸術館(茨城県水戸市)、仙台市市民文化事業団(宮城県仙台市)の4団体が連携し、演劇的アプローチから「産み、育てること」を考えていくプロジェクトです。「産み、育てること」についての悩みや不安の多くは、そのすべてが個人に帰するものではなく、その「地域」の環境や背景を色濃く映し出しています。このプロジェクトでは、地域毎に参加者を募り、「産み、育てること」にまつわるひとりひとりの経験や想いをタテ(世代)とヨコ(地域)の広がりの中に捉えていくことを試みます。自分とは違う世代、違う場所、違う立場を生きる他者と出会い、広い視野から自分を見つめ直すことで、明日への一歩となる新たな可能性を見出ししていくことを目指しています。

↑ お問い合わせ 公益財団法人仙台市市民文化事業団 事業課事業企画係 担当: 飯川  
TEL: 022-301-7405 FAX: 022-727-1874 メール: info@sendaicf.jp

<https://www.facebook.com/tonarinokosodate>

主催: 仙台市/日立システムズホール仙台 公益財団法人仙台市市民文化事業団 のびすく泉中央 助成: (財) 地域創造



進行役: 阿部 初美 (あべ はつみ)  
演出家。演劇集団円所属。故太田省吾(劇作・演出家)に師事後、演出家として活動。'06年より、にしがも創造舎レジデント・アーティストとして、東京国際芸術祭を中心にドキュメンタリー的な作品『4.48 サイコス』『アトミック・サバイバー』『エコノミック・ファンタスマゴリア』などを発表。東京芸術大学、(財)地域創造リージョナルシアター事業、各地の公共劇場などで講師を務める。'10年に出産。現在は子育てしながらワークショップを中心に活動中。

**連続 第4回ワークショップ**  
日時: 2014年8月29日(金) 18時~21時30分  
場所: 日立システムズホール仙台  
参加者: 6名+見学1名



アンケートで10代から102歳までの声が集まりました。一斉に並べて、男女別、世代別に分けて、回答を読み、キーワードになりそうな言葉や読んでほしいエピソード、意見、その反対意見などを抜粋する作業を行いました。

**単発 第4回ワークショップ**  
日時: 2014年8月30日(土) 10時30分~13時30分  
場所: のびすく泉中央  
参加者: 大人6名+子ども6名



初めて参加される方が多く、名前ゲームでコミュニケーションをはかった後、「結婚・産み・育て」の関心事を共有しました。

- ・子育てを楽しむポイント
- ・子どもを持つ事への不安、仕事と子育ての両立
- ・結婚、育児、仕事のバランスをどのようにしているのか
- ・子どもが自分よりパパっ子
- ・周囲の理解、私自身と家族
- ・息子の口答え

30代・女性・Aさん  
うちは双子なのですが周囲に少なく、理解もあまりされない。ポンと預けることができなかった。年中から幼稚園にいて、仕事を始めました。自分は仕事をしたいが、主人はよく思っていない。家にお母さんをしてほしいと思っています。私は鹿児島生まれで主人は仙台生まれで、言葉やごはんや文化が全然違うと感じます。みんなからは子育ては夜も眠れないし、





大変だよとは言われていましたが、しばらく子育てで外に出られなくて、出てみたらやっぱり双子はもっと大変かと思いました。車で10分くらいのところに義両親が住んでいます、義理の姉が自分より10年先に子どもを産んだとき、義母は50の時に初孫だったのですが、体力がないから見れないし、家に連れてこないでと言われて、自分の娘の子どもでさえそうならばと頼れる感じではなかったです。

30代・女性・Bさん

私は五人兄弟だったのですが下の子の哺乳をしたりしていました。今も何かあれば駆けつけられるところに兄弟がいます。自分の子どもは一人しかいませんが、もしこのまま一人だったら、大人になったときに何でも自分でやらなければいけなくて大変だろうなと思ったりします。

30代・女性・Cさん

3人兄弟で真ん中の子の口答えがすごいです。怒ると「ぼくのこと好きじゃないでしょ」と言われてしまいます。

30代・女性・Aさん

子どもは怪我をしたときには私にくるのですが、遊びに行くときやおやつを買うときは父親につきます。

対話の後、「自分と子どもの関係」「ライフワークバランス」のテーマでタブロー（静止画）をつくりました。



「自分と子どもの関係」

— 振り返り —

阿部さん

どうい話になりましたか。

30代・女性・Cさん

自分が疲れていたら子どもと笑顔で向き合えなかったり、向き合うことが自分次第になってしまい、怒らなくてもいいことも自分が大変だからつい怒ってしまうと言う状況で子どもに対して気まぐれじゃなく向き合いたいの、やることに追われてできないこともあります。

30代・男性・Aさん

父親は子どもと遊んでばかりになってしまうことや、子どもはパパが好きでうらやましいと思うかラッキーと思うか、自分次第で変わってしまう話になりました。



「ライフワークバランス」

結婚も子育てもその時になればなんとかなるさという2人組とそれを見て不安があるけれど希望を持っている2人組

— 振り返り —

30代・女性・Aさん

子どもが生まれたらどうなるのかとか、仕事をしていかないとか経済的に不安を感じるというような話になりましたが、その時になったらなんとかなるよ、と。なる前はいろいろ考えてしまうけれど、子どもが生まれたらそんなことを考える時間がなくなります。

阿部さん

考える時間と体力がありますからね。子どもが生まれたら苦しいこともあるけれど、楽しいこともあります。

30代・男性・Aさん

自分の器が大きくなるというか、子どもがいることで自分の子ども時代を思い出させてくれたり、改めて親との関係を考えさせてくれたり、人間として成長できるなと思います。

連続 第5回ワークショップ

日時：2014年9月4日（木）18時30分～21時30分

場所：日立システムズホール仙台

参加者：7名+見学3名



ステージ発表の経過報告を行い、4都市連携で行う声の文通の録音を行いました。また、アンケートの抜粋からカテゴリを見出し、グループ化を行いました。アンケートをもとに作った歌に曲をつけていただく作曲家の服部さんも見学にきました。

単発 第5回ワークショップ

日時：2014年9月5日（金）10時00分～13時00分

場所：太白区中央市民センター 和室

参加者：大人3名+子ども2名



世田谷パブリックシアターの九谷さんと東京で俳優をされている南波さんも一緒に参加されました。

30代・女性・Aさん

仙台は察して欲しいという雰囲気を出している人が多いような気がします。お店でも話しかけないでほしい人もいれば、話しかけられたそうな人もいて、雰囲気を出していますね。

30代・女性・Cさん

Bさんは旦那さんが長男ということですが、男の子を産んだ方がいいのかなと感じることはありましたか。

30代・女性・Bさん

私はそんなに感じませんでしたが、うちの従兄弟は「でかした」という感じで言われたそうです。義父も長男で、続いている家なのですが、途絶えさせてはいけないあと大事な事かなと思いますけども。

30代・男性・Aさん

祖母が亡くなったときに親戚中集まったら家系図みたいなものが出てきました。江戸時代半ばからこれこれさんがこういう風につくってと記録が出てきて、墓を新しくしたのですが、昔は古い墓地にたくさん分家の人の墓があって、僕は全然その意味がわかっていなくて、お盆の度に、小っちゃいぼろぼろの倒れている古い墓石にも線香をあげていて、この人は誰なんだろうと思っていましたがどうやら昔の古いつながりのある人だった。家系図を書き起こして見せられて、うちは分家の次男だからこのお墓には入れないからねと初めて言われました。

30代・女性・Dさん

冠婚葬祭は墓とともにあると言いますよね。土地とか家とか。私は37で独身で子どもがいないのですが、運良く結婚して妊娠したとしてプレッシャーとかがあったらどうしていいかわからないと思う。母は長男の嫁で何となくあったと言っていました。おじいちゃんが養子に入っている家で何人か男の子を産んだら養子に出すかもという話もあったけれど、3人産んで、上の2人が女でそのままになったんですけど、言われなかったけれど何も言われなかったから産めた。私は子どもがほしいと思っていますが、これから結婚したとしても、まず産めるかどうかかわからないところから始まります。あちらの両輪と話し合わないといけないかなと考えます。

阿部さん

私の友人の話ですが、友人は私より少し年上で年下の彼がいて結婚するつもりでいました。突然、彼が実家から「帰ってきて結婚して家を継げ」と言われて一緒に両親に会いに行ったら、彼女はもう年齢的に子どもが産めないで、そのことを理由に別れさせられたそうです。彼も「ごめん」といった感じで、大変ショックを受けていました。向こうの親は子どもを早く産んでくれとか、産めない女に用はないと言って相当はっきりしていたそうです。

30代・男性・Aさん

うちは逆で、兄は東京にいて結婚もしていないんですけど、